

聴く

新潟いのちの電話だより

2015.9

No.126



相談電話

(025) 288-4343

上 越 (025) 522-4343

長 岡 (0258) 39-4343

新発田 (0254) 20-4343

村 上 (0254) 53-4343

ベランダ猫 (2)

橘 玲子

先回、パンツと名づけたノラ猫のことを書きました。猫嫌いの方にはご迷惑でしょうがその続きです。パンツは餌を食べた後、すぐまたねだりに来るので「お前は私が認知症だと思っているんでしょ。餌をあげたことを忘れて、あわよくばと狙っている？忘れん坊になったとはいえ、まだ20分前のことは覚えているんだけど」と言うと、誠にタイミング良く「ニャー」と応ずるのです。こんな質問をしたこともあります。「パンツ！あんたはロミオなの？それともジュリエット？」するとやっぱり「ニャー」と反応します。語りかけると、まるでこちらの言うことがわかっていようなのです。度々やると猫も疲れるのか、反応しないのも可笑しいですが。

その後1ヶ月もしないうちに、パンツが、そろそろ、そろそろと、やっと歩く子猫4匹を引き連れて現れました。パンツの顔はどことなく誇りと自信に満ちています。私の認知症を期待したのではなく、母乳のために必死に餌をねだりに来たことが判明しました。年寄りのひがみっぽさを少し反省しました。私はパンツを観察していたつもりだったのですが、パンツもほぼ1ヶ月の間、私が安全な相手かどうかをしっかりと観察していたのです。

私の知人に、熱心に子育て支援の活動をしている男性の臨床心理士がいます。雑誌での対談が終わった後の雑談の中で、子どもの観察をするのは動物の観察に似ていて、非常におもしろいと話していました。ちょうど私もそんなことを思っていたときでしたので、大いに賛同しました。パンツと私との間には、関係をつくる意図はまったく違っていました。関係は次第に生まれ、そして成立し、信頼へという変化が生じたようです。人間同士には、言語が交わされ、共通の理解が得られると思うこともありますが、しかし信頼関係にいたらないことがあります。理由を考えてみたらおもしろいですね。

(新潟青陵大学 大学院 教授)

ある日の相談室より

電話その1

人はみんな幸せそうですね。

楽しそうな家族連れや、2人連れを見ると、憎しみや、
うらやまさがこみ上げてきます。1人の私は寂しいですよ。
孤独感がおしよせてきます。



電話その2

自分の人生をふり返ってみると、何もかもうまくいってない気がします。
夫のこと、子どものこと、兄弟姉妹のこと、友達のこと。このままでいいのだから。
うか。誰も私のことをわかってくれない。寂しい人生だと思っています。

電話その3

周りの人から人がいいと言われています。知り合いの年配の人で車に乗れない人がいて、つき合って車に乗せて買物に行くのですが、そのうち、それがあたり前になって、お礼の「ありがとう」の言葉もなく嫌になっています。

職場では、新しく入社した若い人に教える立場になり、若い人は自分のやりやすい仕事ばかりして、面倒なことは全てこちらにまわってきます。面倒見るのは嫌じゃない。しかし、それがあたり前だと思っている人にカチンときてしまいます。

電話その4

世の中は連休で楽しそう。だけど、私は困ります。だって電話相談の窓口は、ほとんどお休みで、話すところがないんです。24時間やっているいのちの電話が頼りです。

あなたはひとりではありません。少しでも支えになればと願いながら、私たちはあなたの話をきいています。

(内容は、電話を基に構成し直したものです)

ホッとする話を2つ

青野 勇

やさしく、たくましく、配慮ができる若者が育っています。

その1

昨年の暮れ、弥彦神社、国上寺、寺泊を訪ねました。お参りのため、車イスに母を乗せて駐車場から押し始めました。砂利道を進んでいくと、ところどころに段差がありました。

8cmぐらいのコンクリートの段差の所で困っていると、気軽に若い男性が「手伝いましょうか」と声をかけてくれました。そして車イスの前を何気なく持ってくれました。

さらに進むと、本殿の前の階段でも、若いカップルが声をかけてくれました。参拝者は年配者が多く、若い人は少なかったのですが。

母は照れながら「ありがとう」と言いました。

その2

小千谷駅の手前で、ご婦人3人が「来迎寺駅は行きますか？」と焦りぎみに声を上げました。離れていた私は躊躇していると、個性的な格好をした女の子がスッと立ち上がり「どうしました？」と近寄りました。そして路線が違うことを説明しました。

感動したのは、困った人への咄嗟の行動力です。この子の普段の行動からなんだろうなと思いました。

小千谷駅でご婦人達は「ありがとう」と言って降りていきました。

(臨床心理士)

毎月10日(午前8時より翌日午前8時まで)は
フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」が実施されています。

電話番号 0120-738-556

お知らせ

会費納入

ありがとうございました

たくさんの会員、企業、団体の皆さまの温かいお気持ちに支えられ、電話相談を続けることができています。会費は大切にに使わせていただきます。

新潟いのちの電話

～心の健康セミナー～

今年度も開催いたします。

- ・津軽三味線 史佳と母竹育が語る
史佳を「うつ」から立ち直らせた
母の支えと津軽三味線の響き

史佳Fumiyoshi・高橋竹育

- ・こころと葉の話

新潟いのちの電話理事長

及川紀久雄

小千谷市

10月31日(土)13時30分～

サンラックおぢや

湯沢町

11月14日(土)13時30分～

湯沢町公民館

三条市

11月17日(火)19時～

三条市総合福祉センター

胎内市

2016年3月6日(日)

詳細未定

チャリティーバザー

(新潟いのちの電話後援会主催)

日時 9月27日(日)11時～14時

会場 新潟市総合福祉会館
2F多目的ホール

バザーで販売できる物品のご寄付を受け付けています。今年もぜひご協力をお願いいたします。新潟市内の方は、ご連絡をいただければ受け取りにうかがいます。

県民たすけあい基金助成事業

講演会と電話相談員募集案内を行います。

〈長岡会場〉

日時 11月16日(月) 18時30分～

会場 アオーレ長岡

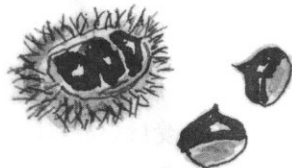
葉祥明 講演会

〈新潟会場〉

日時 2016年1月16日(土) 午後

会場 新潟日報メディアシップ2F 日報ホール

雨宮処凛 講演会



2015年9月10日発行

社会福祉法人 新潟いのちの電話

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-3 新潟ユニゾンプラザ ハート館

事務局 TEL (025) 280-5677 FAX (025) 280-5677

ホームページアドレス <http://www.ni-denwa.jp/>

悲しみの日の慰め

悲しみが なにかは
だれもが よく知っている
そのわけも さまざま
失望 失敗
思ってもみなかった 喪失

きのうまでは なんともなかったのに
不意に悲しみがおそい
どん底に落とされてしまうこともある

たちなおる 道はないのか

ただひとつ
どんな悲しみにも 用意されている泉がある
自然界の不思議だ

花があり 木があり
小川や 小鳥や 日の光
それに 夜空にかがやく星もある

そのどれもが ことばによらず
語ってくれている
あなたは そこにいるだけでいいのですよ と

新しくはじめる ちからも
受けいれるしかない 定めも
苦しみながら生きる人生の 慰めは
この泉に たちかえることしかない